5「細街路協議書」添付書類一覧

下表の①～⑨の書類を正・副提出してください。**特に、⑥⑦⑧は建築確認申請用の図面ではありません。**正本は、記入・押印し、副本は、正本の写しでかまいません。

番号	書類の種類	書類の内容及び対象、注意事項等
①	細街路協議書 第１号様式	整備後の管理欄で「寄付」を選択された場合、条例等に係る規定に基づき、事業場情報の照会を行います。「土壌汚染の恐れ」がある場合は、申請者で土壌汚染調査及び汚染土壌の除去対策をして頂きます。
②	委任状	細街路協議手続きを代理者に委任する場合
③	案内図	方位、道路及び目標となる地物
④	公図写し	細街路整備を実施する土地の不動産登記法第１４条第１項に規定する地図に準ずる図面の写しで**「登記官の押印のあるもの」** **インターネット印刷は不可（土地家屋調査士の押印も不可）**
⑤	不動産登記全部事項証明書	細街路整備を実施する土地の登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面で**「登記官の押印のあるもの」** **インターネット印刷は不可（土地家屋調査士の押印も不可）**
⑥	現況平面図 （P14、P17 参照） 建築確認申請用ではありません	縮尺及び方位 敷地の既存形状、敷地内における既存建築物及び工作物の位置 敷地の接する既存道路の位置、幅員及び道路中心線及び種類 細街路整備の範囲及び拡幅又は築造後の道路境界線 現況Ｌ形側溝、道路集水桝、道路汚水桝又は道路雨水桝、その他これらに類する施設の位置及び経路、電柱及び街路灯の位置
⑦	拡幅平面図 （P15、P18 参照） 建築確認申請用ではありません	縮尺及び方位 細街路整備後の敷地の形状、建築確認の申請に係る建築物及び工作物の位置、細街路整備後の道路の位置、幅員及び種類 細街路整備後における新設Ｌ形側溝、道路集水桝、道路汚水桝又は道路雨水桝、その他これらに類する施設の位置及び経路、移設後の電柱及び街路灯の位置
⑧	**求積図** **（P16、P19 参照）** 建築確認申請用ではありません	**後退敷地を地番ごとに求積したもの** **土地家屋調査士又は測量士の職印の押印と登録番号の記載が必要**中心点・境界点座標値、座標求積表を記載
⑨	カラー写真	道路拡幅部分が判別できるように近景と遠景を撮影

第１号様式

年　　月　　日

細　街　路　協　議　書

（提出先）

足立区長

（申請者）法人等の場合は法人等の名称及び代表者役職・氏名

住　　所	〒	
フリガナ		印※
氏　　名		
電　　話		
□ 本申請の記載事項について、誤字・脱字等の軽微な訂正は区職員が行うことに同意します。		

足立区細街路整備条例施行規則第５条の規定に基づき、関係図書を添えて協議します。
なお、細街路整備完了後は、同第１０条の規定に基づき、協議事項の一部を閲覧の用に供することを承諾します。

記

整備敷地の状況等	整備箇所	住居表示	足立区			
		地名地番	足立区			
	計画の概要	計画内容	□建築計画なし　□新築、建替え、増築等			
		用途	□専用住宅（□分譲　□自己用）　□共同住宅（住戸数　　戸） □店舗（販売面積　　㎡）　□その他（　　）			
		階数	地上　　階、地下　　階	敷地面積		㎡
		建築面積	㎡	延べ面積		㎡
整備内容	整備区分		□区整備　□自主整備			
	整備後の管理		□区管理（□寄付・□私有地使用承諾）　□自主管理（私道）			
	電柱等の移設		□有（□東電柱　□ＮＴＴ柱　□単独街路灯）　□無			
	整備予定時期		年　　月（□上旬・□中旬・□下旬）			
備考	注）足立区使用欄（ここには記入しないこと）					

注）正副２部提出のこと。

※　押印または署名を省略する場合は、【個人】公的身分証の写しの添付等の本人確認、【法人・団体】発行責任者欄と担当者欄の記載が必要です。

発行責任者役職・氏名		連絡先	
担当者　役職・氏名		連絡先	

捨印

令和　　年　　月　　日

委　　任　　状

（提　出　先）
足 立 区 長

委任者（申請者）

住所

氏名　　印

足立区細街路整備条例に基づく手続きに関する一切の権限について、下記のとおり委任します。

記

１　委任事項

細街路協議

２　申請敷地の所在地（地名地番）

足立区

３　受任者《設計・手続者（法人等の場合は法人等の名称及び代表者役職・氏名）》

住　　所

氏　　名

電　　話

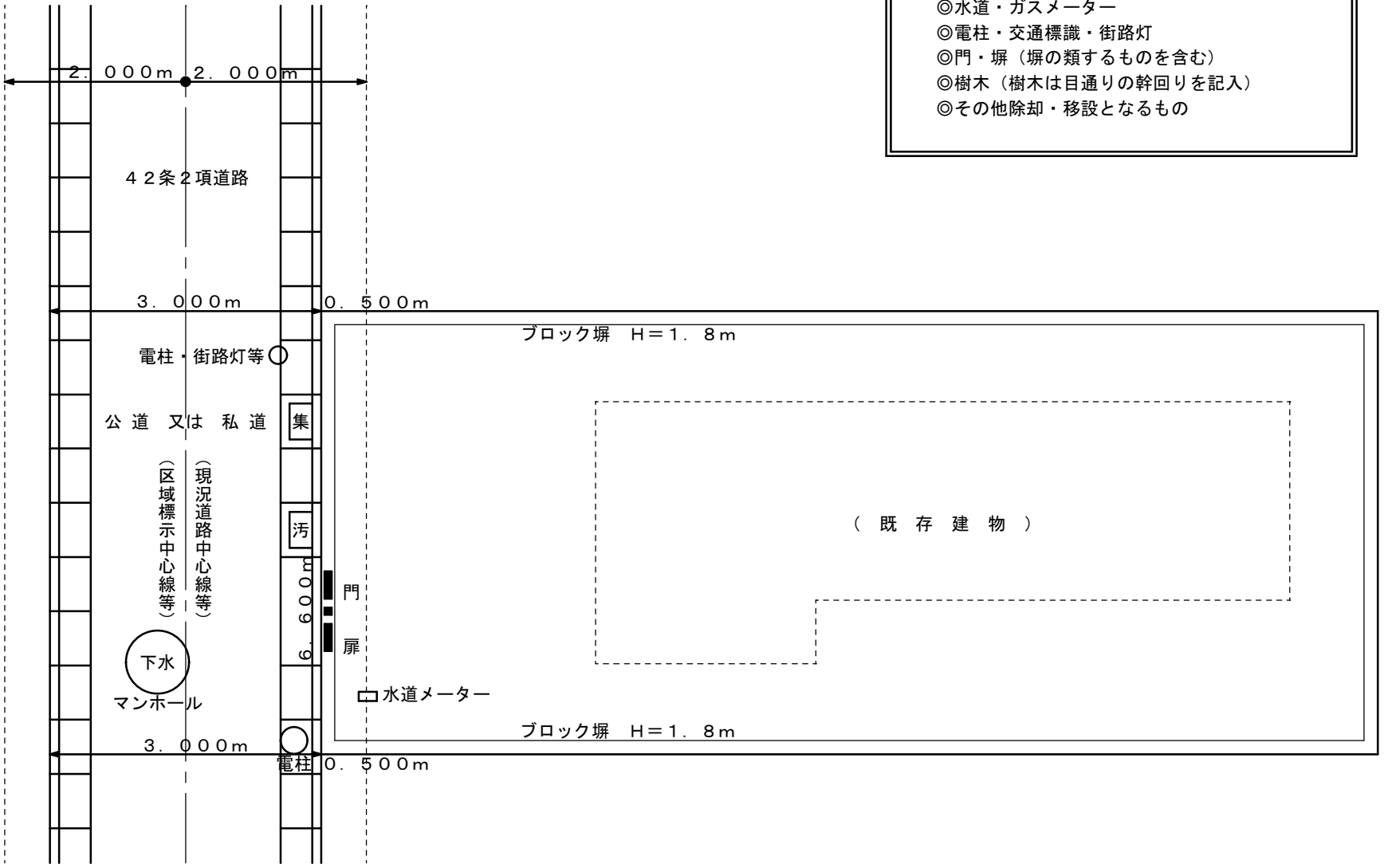
担当者氏名

以上

※正・副２部提出のこと。

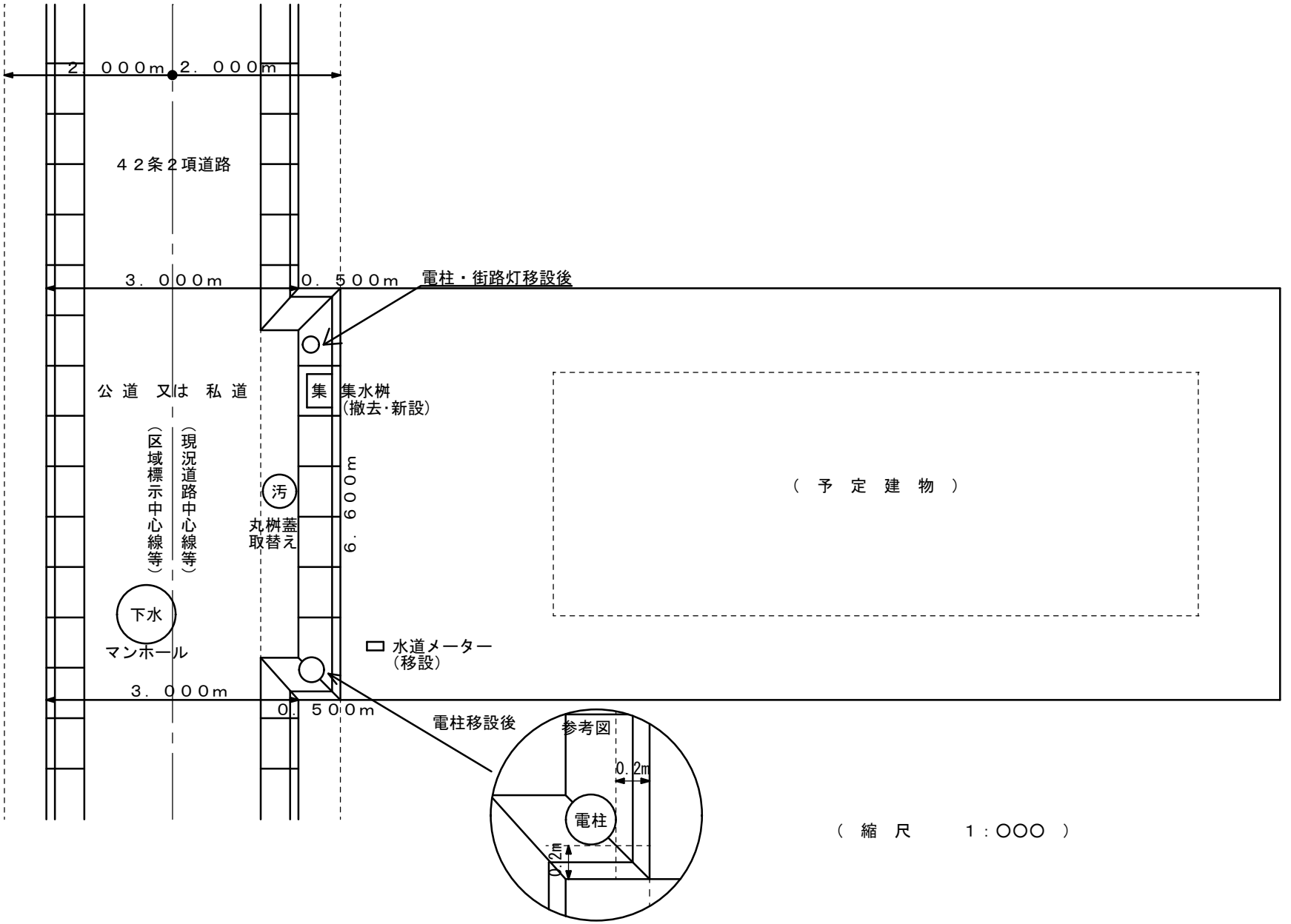
①〔現況平面図・隅切り無し〕

注意事項
1．公・私道の別を確認してください。
2．図面には、以下のものを記載してください。
◎道路種別・現況幅員・中心線・中心根拠
◎拡幅巾
◎道路桝（雨水桝・汚水桝）
◎水道・ガスメーター
◎電柱・交通標識・街路灯
◎門・塀（塀の類するものを含む）
◎樹木（樹木は目通りの幹回りを記入）
◎その他除却・移設となるもの



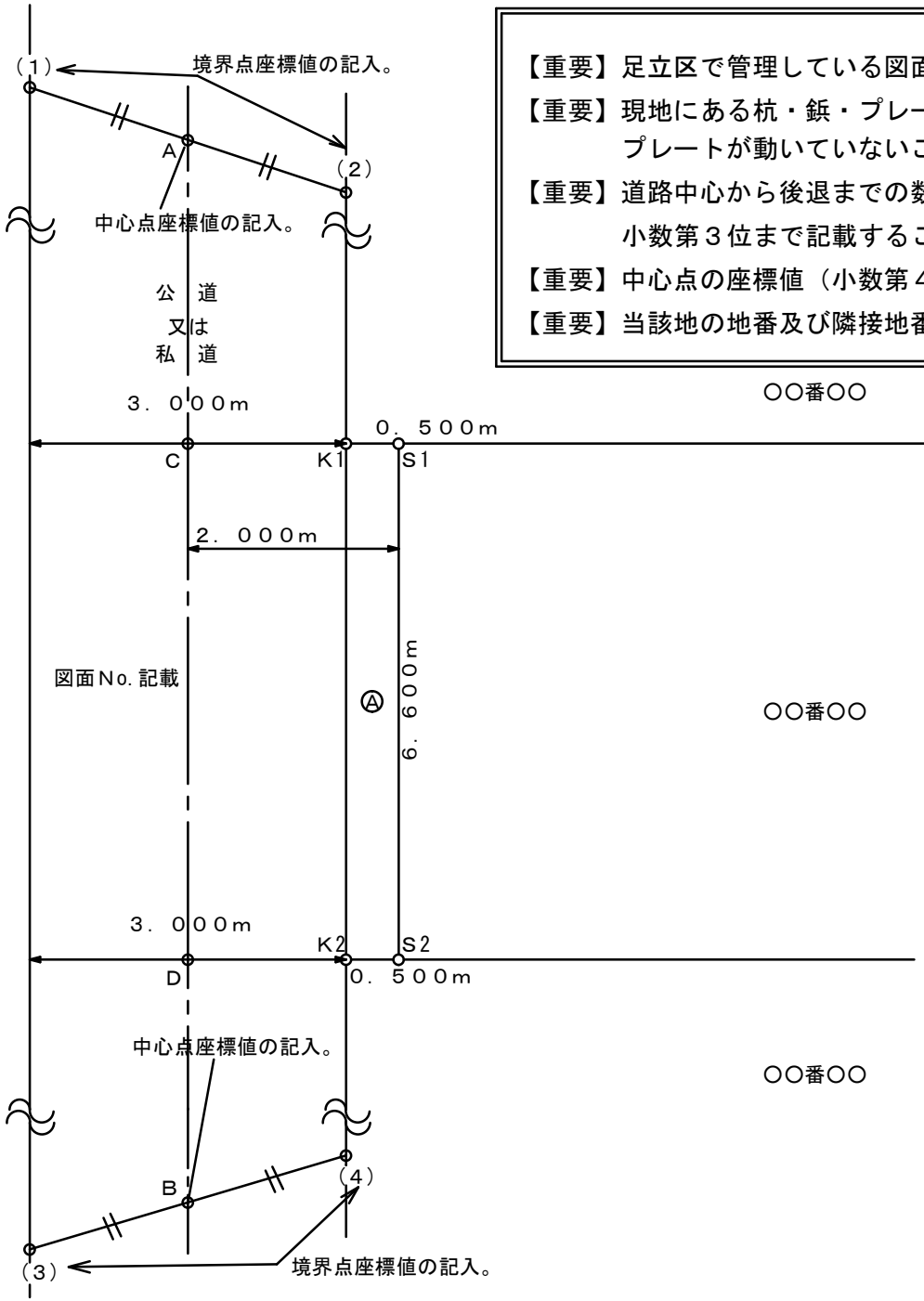
（ 縮 尺　　1：OOO ）

②〔拡幅平面図・隅切り無し〕



（ 縮 尺 1：OOO ）

③〔求積図・隅切り無し〕（例）区域標示図の場合。



【重要】足立区で管理している図面を元に復元測量を行う。
【重要】現地にある杭・鋲・プレートなどを測る測量ではなく引照点（点の記）を観測し、杭・鋲プレートが動いていないことを検証する必要があります。
【重要】道路中心から後退までの数値と廻り間の数値は座標から計算し、小数第４位を切り捨て、小数第３位まで記載すること。
【重要】中心点の座標値（小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載）は必ず記載すること。
【重要】当該地の地番及び隣接地番を記入すること。

〇〇番〇〇

〇〇番〇〇

〇〇番〇〇

〇〇番〇〇

中心点　・　境界点座標値

点名	Xn	Yn
A		
B		
C		
D		
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

求　積　表

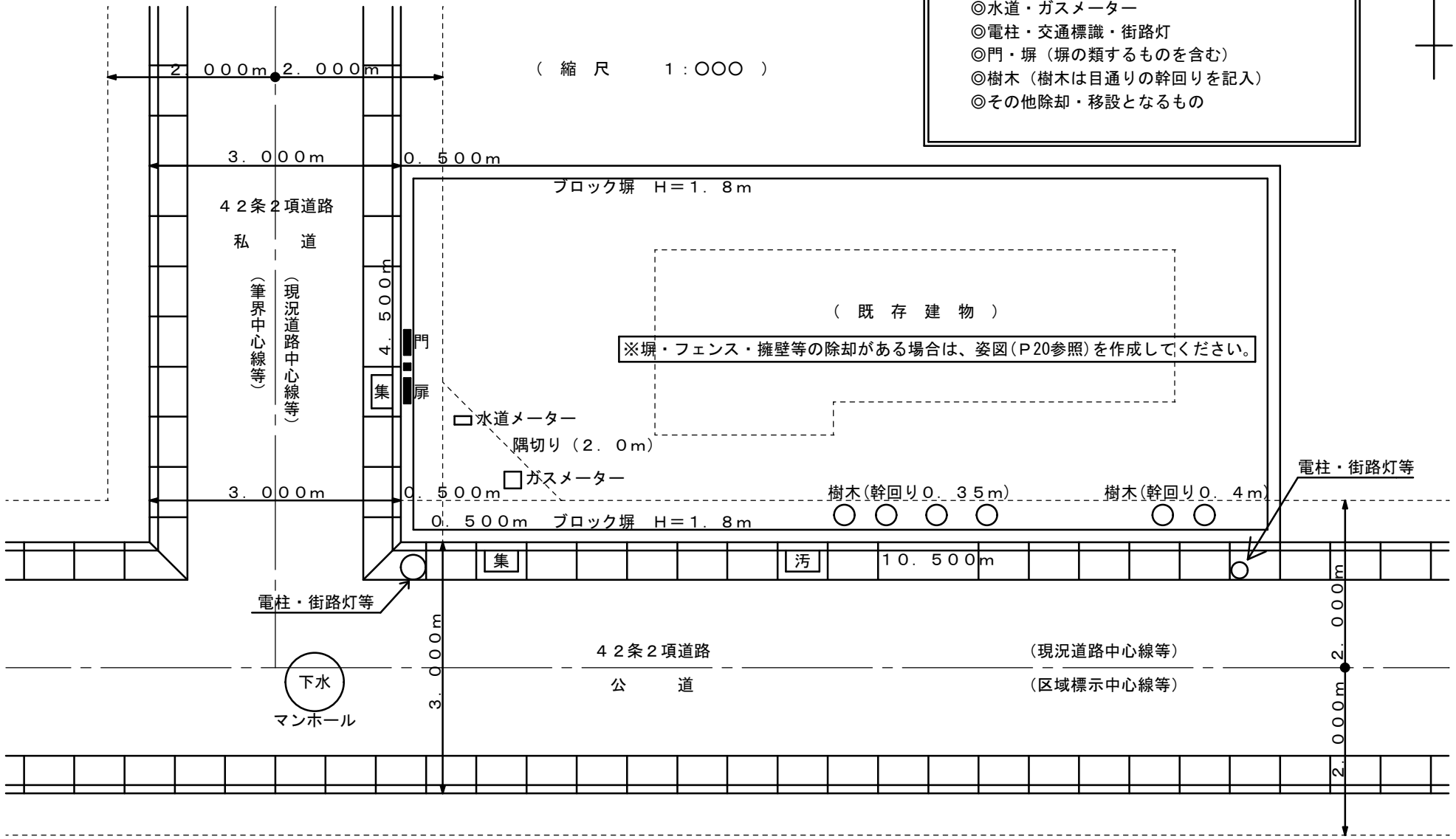
地番	Ⓐ 〇〇番〇の一部			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
K1				
K2				
S2				
S1				
			合　計	
			合　計　面　積	
			地　積	

※座標系は区の図面に合わせてください。区の図面以外の座標系で作成する場合、ヘルマート変換計算書を提出してください。
※ヘルマート変換の参照点は、区の図面の引照点（点の記）を使用してください。

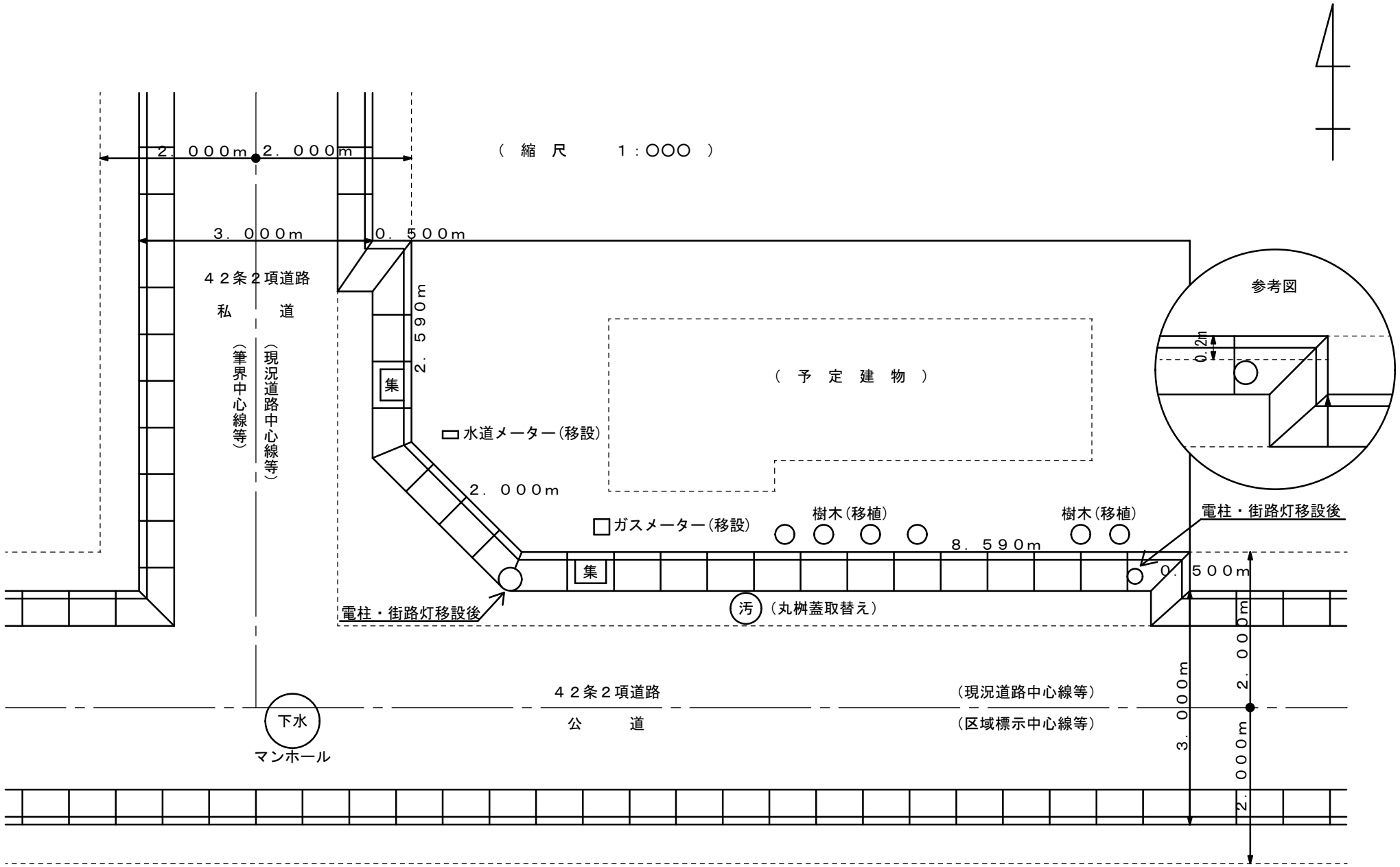
土地の所在	足立区〇〇丁目〇〇番〇〇の一部
図面名	求積図
縮尺	1/〇〇〇
作成者	東京都足立区〇丁目〇番〇号 株式会社〇〇　土地家屋調査士又は測量士　登録番号第〇〇号　〇〇 印

④〔現況平面図・隅切り有り〕

注意事項
1．公・私道の別を確認してください。
2．図面には、以下のものを記載してください。
◎道路種別・現況幅員・中心線・中心根拠
◎拡幅巾
◎道路桝（雨水桝・汚水桝）
◎水道・ガスメーター
◎電柱・交通標識・街路灯
◎門・塀（塀の類するものを含む）
◎樹木（樹木は目通りの幹回りを記入）
◎その他除却・移設となるもの



⑤〔拡幅平面図・隅切り有り〕

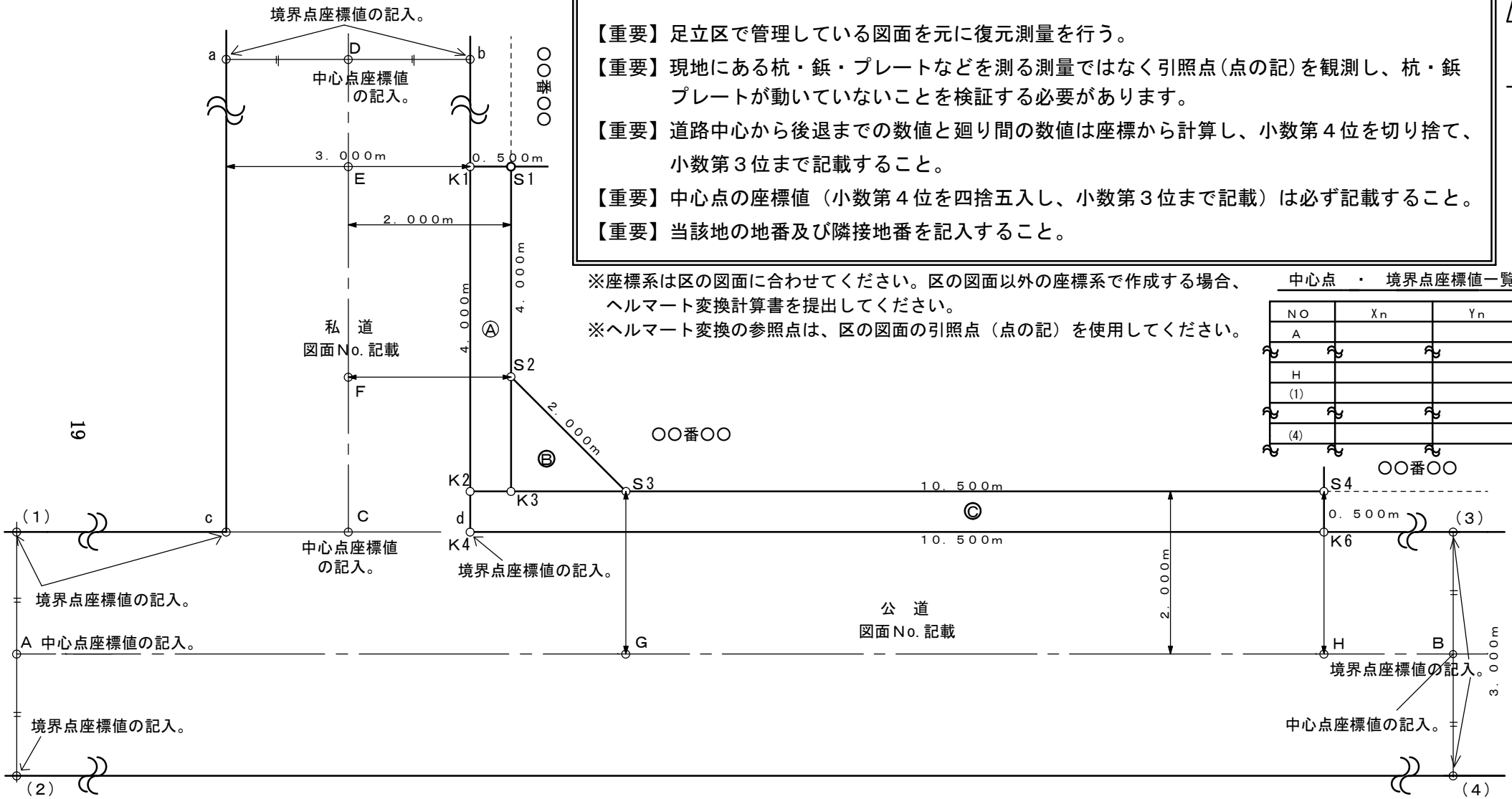


⑥〔求積図・隅切り有り〕

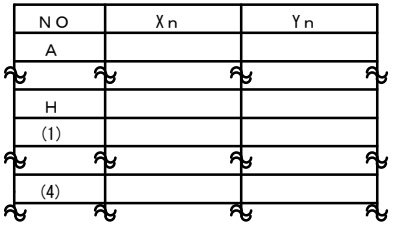
（例）区域標示図の場合。

【重要】足立区で管理している図面を元に復元測量を行う。
【重要】現地にある杭・鋲・プレートなどを測る測量ではなく引照点（点の記）を観測し、杭・鋲プレートが動いていないことを検証する必要があります。
【重要】道路中心から後退までの数値と廻り間の数値は座標から計算し、小数第４位を切り捨て、小数第３位まで記載すること。
【重要】中心点の座標値（小数第４位を四捨五入し、小数第３位まで記載）は必ず記載すること。
【重要】当該地の地番及び隣接地番を記入すること。

※座標系は区の図面に合わせてください。区の図面以外の座標系で作成する場合、ヘルマート変換計算書を提出してください。
※ヘルマート変換の参照点は、区の図面の引照点（点の記）を使用してください。



中心点　・　境界点座標値一覧



○○番○○

求　積　表

地番	Ⓐ 後退用地(私道)			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
K1				
K2				
K3				
S1				
合　計				
合　計　面　積				
地　積				

求　積　表

地番	Ⓑ 隅切り(私道)			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
S2				
K3				
S3				
合　計				
合　計　面　積				
地　積				

求　積　表

地番	Ⓒ 後退用地(公道)			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
K2				
K4				
K6				
S4				
合　計				
合　計　面　積				
地　積				

※座標面積計算にて算出すること。

土地の所在	足立区○○丁目○○番○○の一部
図面名	求積図
縮尺	1/○○○
作成者	東京都足立区○丁目○番○号　株式会社○○ 土地家屋調査士又は測量士　登録番号第○○号　○○印